

# 令和 2 年度

## 高根福祉みのる会「パル実郷」事業報告

### 1. 施設の概況

#### (1) 設備・経営者

社会福祉法人高根福祉みのる会設置、経営

平成 28 年 4 月 1 日北杜市より土地、建物及び備品の譲渡を受け法人名義となる。

#### (2) 所在地

山梨県北杜市高根町箕輪 2 2 7 0 - 1

#### (3) 開設年月日

パル実郷：平成 14 年 4 月 1 日

#### (4) 利用者定員 32 名

就労継続支援 B 型事業所 26 名・生活介護事業所 6 名

#### (5) 職員数 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

区 分 職 種	区 分	
	生活介護	就労継続支援 B 型
施 設 長	1 (兼務)	1 (兼務)
管 理 者	1 (兼務)	1 (兼務)
統 括 主 任	1 (兼務)	1 (兼務)
サービスマニ 責 任 者	1 (兼務)	1 (兼務)
生活支援員	1 (専任)	3 (専任)
職業指導員		3 (専任)
事 務 員	1 (兼務)	1 (兼務)
医 師	1 (嘱託)	1 (嘱託)
看 護 師	1 (非常勤)	

※令和 2 年 1 2 月 3 1 日にて、非常勤職員(職業指導員)が家庭の都合により 1 名退職

※退職後補充なし(職員配置基準より 2 名多いため)

#### (6) 嘱託医

大泉中央診療所所長 中島琢雄医師

## 2. 事業の概況・経過報告

年間開所日数 253日

延べ利用者数 5,584人(令和元年度利用者数 5,372人)

対前年比 212人増

### (1) 指定生活介護事業(定員 6名)

令和2年度延利用者数 1,355名(対前年比 32名増)

- ・7月に1名の利用者が「胃幽门部癌」で約2ヶ月入院。9月に退院。食事の量の調節、午前、午後1回ずつ補食の提供をおこなっている。
- ・12月に1名退所(他施設利用のため)
- ・コロナウィルス感染防止に伴い、昼食後の歯磨き指導、3B体操、外出などは中止したが、利用者が不安定になることはなかった。
- ・6名中3名の方が(84歳、82歳、77歳)と高齢のため、健康維持のための健康観察に加え、衣服の着脱、トイレ誘導などに重点を置いてサービス提供を行っている。(尿、便失禁者が増えている)
- ・将来の介護福祉サービス利用も見据え、家族に情報提供を行っている。
- ・天気の良い日には、敷地内に散歩に出かけ体力低下防止に努めている。外出時は、歩行に注意し転倒防止に努めている。
- ・看護師による週一度のバイタルチェックを実施、健康管理を行った。
- ・桂精機班からの内部受託にて積極的に生産活動を行い工賃を支給している。工賃金額(2,000円~7,000円)

### (2) 指定就労継続支援B型事業(定員26名)

令和2年度延利用者数 4,229名(対前年比 180名増)

- ・授産事業としての取り組みとして
  - (1) 令和2年度売上げ 18,680,710円
  - (2) 目標に対する達成率 90%
  - (3) 作業開拓について
    - ・横内製麺
    - ・山梨県農福連携(農作業)
  - (4) 平均工賃達成率 15,000円(実平均工賃14,857円)  
達成率 99%
- (5) 今年度の振り返りと次年度に向けた取り組み
  - ・新規作業開拓として、横内製麺(麺のパック詰め、袋入れ)の受託作業をおこなった。8月~2月位に集中して作業があった。また、クッキー班の閑散期に作業を行うことが出来売り上げに繋がった。
  - ・山梨県農福連携事業で近隣農家と契約をおこない農業(レタスの定植、ネギ苗の定植、各野菜の種まき等)の作業をおこなった。今後も、通年通して農作業がある為取り組んでいく。また、10月~12月にどんぐりの収集作業もおこない収入に繋がった。
  - ・クッキーについては、山梨県共同受注作業として「made in 福祉・

「コロナウィルスやっつけ隊」イトーヨーカドー昭和店にて、2月に販売し約22施設程参加するなかで、当施設のクッキーが好評で売り上げが高かった。

- ・北杜市ふるさと納税の返礼品として、峡北地域の施設の授産品をまとめ「福祉ボックス」として掲載し、クッキーを扱っている。
- ・構造物（園芸用ハウス等）などの保守点検に気配りし、修繕費の抑制に努めた。
- ・「やまなし手作りマスクプロジェクト」制作枚数 800 枚 @700 円

・令和2年度授産事業実績：

- ① 花卉園芸グループ
- ② クッキー製菓グループ
- ③ 農園グループ
- ④ 受託グループ
  - (A) 佐藤段ボール（株）（企業出向）
  - (B)（株）桂精機製作所（下請け加工）
  - (C)（株）環境保全研究所（下請け加工）
  - (D)（有）横内製麺（下請け加工）

### 3. 施設利用者状況（令和3年3月31日現在）

・利用者数（令和2年度の推移）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パ ル 実 郷	男子	17	16	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18
	女子	10	9	9	9	9	9	8	8	8	7	7	7
	計	27	25	26	26	26	26	25	26	26	25	25	25

・平均年齢・最年少・最年長

パ ル	平均年齢			最年少		最年長	
	男子	女子	全体	男子	女子	男子	女子
	53.2歳	44.8歳	50.8歳	25歳	20歳	84歳	82歳

・市町村別利用状況

地域		北杜市	他町村	計
パ ル 実 郷	男子	18	0	18
	女子	7	0	7
	計	25	0	25

#### 4. その他の支援サービス

##### (1) 給食提供サービス

- ・本年度も引き続き日清医療食品（株）に給食業務を委託した。  
令和2年度給食提供総数 4, 899食（月平均 408食）であった。
- ・給食会議を毎月開催し、利用者さんの誕生日にはリクエストメニューを取り入れ、旬の食材を使用し、季節を感じられる食事を用意して「温かいものを温かいうちに」、適温給食で利用者さんに提供した。
- ・コロナウィルス感染防止のため、流しそうめんやバーベキューは中止した。  
また、昼食時は対面にならないよう座席の工夫をおこなった。
- ・嗜好調査を実施し、献立に反映した。又利用者さんの食物アレルギー等を把握し食事提供を行った。
- ・透析治療中の利用者には、病院や給食業務委託者と連携を取り、メニューの確認や水分・塩分量の確認を行っている。

##### (2) 個別サービス

- ・通院、行政への書類の提出、かかりつけ主治医からの薬の受け取り、短期入所利用施設への家族からの依頼に応じて送迎、行政手続きの代行、薬の受け取り等を行った。

##### (3) 保健衛生に関して

- ・嘱託医による定期健康診断の実施（12月・3月）  
希望者には、インフルエンザの予防接種を施設にて行った。
- ・健康診断の受診結果を確認し、健康面の確認をした。
- ・毎日の検温、健康のチェックにより利用者さんの健康状態を把握した。
- ・コロナウィルス、インフルエンザに罹患した職員・利用者はいなかった。
- ・常にマスク・アルコール消毒をしていた事もあり、風邪を引く人も少なかった。

#### 5. 虐待防止に関する取り組み

障害者自立支援法第42条第3項において利用者の人権の擁護、虐待の防止のため、責任者を設置する等の必要な体制の整備を行うこと。又、職員に対し研修を実施する等の措置を講ずるよう定められている。

パル実郷においては、運営規程第33条（虐待防止のための措置）により平成27年度中に体制の整備を行った。

◎令和2年度中における虐待と思われる発生件数 0件

#### 6. 苦情解決に向けた取り組み

苦情に限らず利用者さん、保護者の要望等を聞き、答える体制を整えている。

- ・区分認定調査の立ち合い。
- ・かかりつけ医院、診療所への送迎、薬の受け取りの依頼。
- ・行政手続きに関する代行。  
上記について対応した。

◎令和2年度中における苦情と思われる発生件数 1件

※家族からは苦情ではなく、話しだけ聞いてほしいとの事でしたが、施設としては苦情として扱い、全職員で原因と今後の対応について話し合いをおこなった。

**【内容】**

- ・迎えに行った際に職員の対応が悪く、「今日は予定がある」などと捨て台詞で態度が悪かった。
- ・車両の3列目シートに座る予定だったが、2列目に本人が座ろうとしてしまい車内で職員に怒られていた。
- ・家族より差し入れがあったが、謝礼の言葉もなかった。
- ・通所当日から30分も送迎車が送れ待たされた。

**【対応】**

- ・施設として対応が悪かったことを謝罪。
- ・該当する職員を担当するコースから外す。
- ・送迎時間の確認と車両の時計を確認し、正しい時刻に修正。
- ・該当する職員に事実を確認し、勤務中の態度を改め、指摘されたところは改善するよう指導。

## 7. 防災対策

- ・策定した事業継続計画（地震・感染症・雪害）の確認を行った。
- ・防災機器の定期的な保守点検の実施（年2回）
- ・火災・地震を想定した避難訓練を毎月実施した。
- ・コロナウィルス感染防止に努め、引き渡し訓練は中止した。
- ・本年度は、除雪、積雪による施設閉鎖や数時間遅れの迎えなどはなかった。

## 8. 余暇活動

- ・誕生会の開催(感染防止の為、プレゼントのみを渡す)
- ・お花見、バーベキュー、流しそうめん、みのるの里まつり、初詣は中止。
- ・忘年会や新年会は例年のように、机を囲んで楽しく実施する事は難しかったが利用者から希望を聞き取り好きなメニューをテイクアウト(2店舗より)して、ソーシャルディスタンスを保ちながら楽しんだ。利用者からも高評価だった。

## 9. 防犯対策

- ・平成29年度補助事業にて設置した防犯カメラにより、24時間監視体制を行っている。

## 10. 職務の専門性の向上

- ・コロナウィルス感染防止のため研修会のほとんどが中止となった。
- ・資格研修については、資格失効しないよう期間を確認し計画的に受講している。

## 11. 施設整備補助金

令和2年度は実績なし

## 1 2. 寄贈物品

保護者会より、空気清浄機 1 台

## 1 3. 外部ボランティア、研修受け入れ

令和 2 年度は実績なし

## 1 4. 施設修繕

給湯器の故障による修理

## 1 5. 新型コロナウイルス対策

- ・緊急事態宣言に伴い、4/20～5/10 まで感染防止のため希望するご家庭の判断で、利用自粛の対応を取った。その後も、不安を感じるご家庭で5/29まで自粛する方もいた。自粛中は、施設より 1 日 1 回～2 回電話連絡をおこない体調等の把握をした。

また、定期的に自宅も訪問し体調の確認をおこなった。

6 月よりほぼ通常通りの活動に戻るが、利用者も大きな変化もなくスムーズに活動に戻ることができた。(数名の利用者が、自宅での生活が長くなり、家族とまだ家に居たい、行きたくないという気持ちになる方がいた)

- ・施設内の消毒の強化、送迎時からのマスクの着用、定期的な換気、手洗いがいの回数を増やす、外部研修参加の自粛等行った。
- ・定期的な換気、昼食時の座席の配慮(食堂と作業場を利用し、3 密にならない配置)
- ・一人暮らしなどの利用者さんの通所日以外の行動把握が難しく、感染への危機感も低く、自粛することも難しい。  
また、2 週間前の行動を記憶しておくことは難しく「行動把握表」を活用し、外出した際の記録を記入してもらっている。  
プライバシーの問題や正しく記入すること(適切な時間や未記入の方が多  
い)が難しく課題となっている。
- ・大型空気清浄機、加湿器の購入。
- ・1 ヶ月に 1 回家庭への通信により、感染予防に努めるよう常に注意喚起して  
いる。
- ・新年度が始まり今までにない生活スタイルを体験した。
- ・利用者さんも最初はマスクをすることに抵抗があり嫌がる方もいた。
- ・年間で決まっていた行事が中止や変更になることで、生活介護の利用者より  
も、B 型に通う利用者の方が不安定になることが多かった。
- ・年度当初は、マスク・アルコール消毒・使い捨て手袋などの確保が困難で  
購入するのに非常に苦労した。  
改めて、在庫の確保や備蓄の必要性を感じた。